

おしっこの回数が気になる方へ

近ごろ、頻尿を訴えて受診される方が増えていますので、頻尿についてまとめてみました。

腎臓で生成された尿は膀胱（ぼうこう）に蓄えられます。そして、ある程度たまった時点で尿意を催して排尿にいたりしますが、腎臓での尿の生成が多く多尿になったり、膀胱での蓄尿量が少なかった時に排尿回数の増加（頻尿）となって現れます。通常、昼間（覚せい時）8回、夜間（就寝時）3回以上の排尿を頻尿としていますが、治療を必要とするかどうかは、原因となる疾患の有無と患者さんの生活の質にどれだけ影響しているかによります。

糖尿病や腎機能障害は多尿をきたしますし、膀胱炎や脳卒中後遺症・子宮筋腫などは膀胱の蓄尿量減少の原因となります。病気がなくても多量の水分摂取は多尿を引き起こします。小児期よりの排尿習慣から膀胱容量が少ない場合もありますし、職場や外出中の緊張が原因で頻尿になるときもあります。

最近販売されている頻尿治療薬は、膀胱容量を増加させる作用がありますが、原因となる病気の治療に代わるものではありません。

さらにややこしいことに、多尿でもなく膀胱容量が十分あるにもかかわらず頻尿になる場合があります。それは前立腺肥大の様に尿道の通過障害があったり、加齢により膀胱の尿排出力が弱くなった為に、膀胱にたまった尿を少しづつ何回も排出している状態です。この場合、膀胱には絶えず残尿が存在し、頻尿治療薬は病状をさらに悪化させます。

頻尿という症状はひとつでも、その原因は多種多様で、診察の結果、治療の第一歩が生活習慣の改善という場合もあります。

医師に相談する時には、生活習慣や症状などを十分説明し、的確な診断を仰ぐようにしてください。

平成16年 6月
肱岡 隆